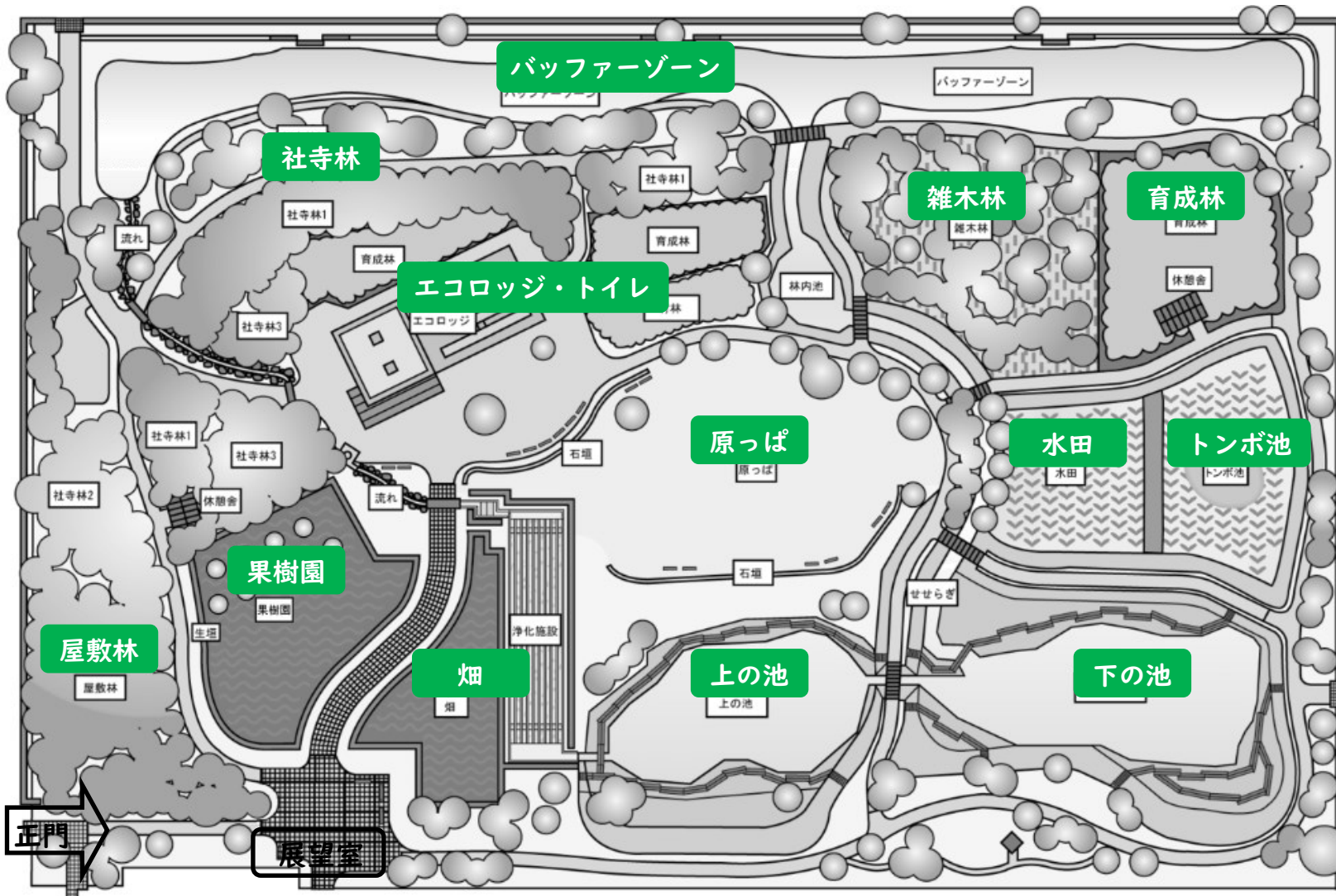


# 生態園マップ～2021夏編～

## 季節のできごと

畑では夏野菜が育っています。これは食用ではなく、光化学オキシダント(光化学スモッグ)の植物への被害を観察するためです。よく見ると葉っぱの表面が変色しているものがあります。これらは光合成をするときに二酸化炭素と一緒に光化学オキシダントを吸い込み、細胞に被害を受けたことによるものです。



## コサギ



白いサギは、白鷺(しらさぎ)とよく総称されますが、その中でも体の小さいのがコサギです。夏羽では頭に長い冠羽があり、足の指が黄色いのが特徴です。ダイサギは待ち伏せ、チュウサギはゆっくり歩きながらの餌探索をすることが多いのに対し、コサギは追いかけて捕まえます。さらに、片足で水底をゆすることで、飛び出してきた餌生物を捕まえる“ゆすり戦法”をすることもあります。



CESSチャンネル (Youtube)  
生態園についても配信

## クヌギの樹液(じゅえき)

クヌギの木の樹液をカブトムシ(メス)、コガネムシ、ゴマダラチョウ、スズメバチが吸いに来ています。カブトムシのオスはいませんね。オスは硬い体と丈夫な角を持ち、闘争心も強いので、他の昆虫を押し回してしまいます。そのため、オスのいない時に他の昆虫がくるようです。

カブトムシの一生は約1年です。去年の8月頃、朽ちたクヌギの木の下の土の中などに産みつけられた卵は、約10日で幼虫になり、何度か脱皮しながら冬を越します。幼虫の間の餌は腐葉土です。今年の6月～7月頃、約10日をかけて蛹(さなぎ)になり、成虫になります。成虫の寿命は1～2ヶ月しかありません。

カブトムシには耳にあたる器官がありません。そのため鳴くこともありません。体に生えている毛で振動を感じ取っています。主に触角を使って、においの信号を頼りに行動しています。

クヌギの木の樹液はスズメバチも大好きです。観察する際は十分にお気をつけください。



## 夏の昆虫

生態園にはカブトムシだけではなく夏を代表する昆虫たちがたくさんいます。来年も見られるように、観察したら生態園に戻してくださいね。

### ノコギリクワガタ



名前のおおと雄の大あごのうちがわの内側にたくさんの歯があるのが特徴のクワガタです。幼虫の時の栄養状態で大あごの大きさは決まるようです。

### ギンヤンマ



頭から尾までは7cm、翅の長さは5cmほどの大型なトンボです。頭部と胸部は黄緑色、腹部が黄褐色をしています。

### アブラゼミ



セミの多くは透明の翅ですが、アブラゼミの翅は前後とも不透明の褐色をしていて、世界でも珍しい翅全体が不透明なセミです。「ジリジリジリジリ」の鳴き声は暑さを倍増させます。